

や

やはりだめ “シナリオ” 誘導 右向け左？

Keyword : 指示待ち人間, 超すずめの学校, 誘導

ほんものの富士山が見たい。

ふじのくに
しずおがけん

JR
JR-GROUP

鹿児島の中澤佐耶ちゃん
ななかざわさや
ちゃんが描いた富士山

ヒタエシンセワ
しずおがけん

静岡県・静岡県観光協会

鹿兒島の中澤佐耶ちゃん



函館の本間香織ちゃん



金沢の加賀友紀くん



仙台の佐藤 好ちゃん

この子たちが手にしている作品、北海道の子は北海道の子らしく。鹿児島の子は鹿児島の子らしく、どれもいいですよ。どのようなプロセスでこの絵が描かれたのか私は知りません。なにしろJRの構内（三原駅／広島島）に貼ってあったポスターを教材にするということは無理にいただいたものだからです。

ところで、北海道の子どもたちがかいた作品のはずなのに沖縄の子どもたちがかいた作品とほとんど雰囲気が変わらない作品（その逆もあり）に遭遇することはしばしばです。

“画家”が審査する「なんちゃらコンクール」の“最優秀賞”などにままみられます。このこと、ある“シナリオ”にのっとって子どもたちに絵をかかせた結果です。この類いの指導法で表現させれば、おそらく単純（素直？）な子どもたちの一部についてはある種の達成感を味わわせることができるのかも知れません。しかし私はシナリオは支持しません。教師の自己満足や“従順”な人間を育てるには有効かもしれませんが。しかし主体的な人間形成の視点からはあまりにも問題が多いと考えるからです。

ただ、目的表現（デザインや工作）の指導場面では応用できる可能性がなくなはらうこと補足しておきます。



神戸の勢理客賢太くん